

林業・木造建築のスペシャリストへの道 高知県立林業大学校 **令和6年度** 研修生募集

基礎課程

定員24名

林業技術や林業機械の操作、森林資源の調査など、フィールドワークが約7割を占め、即戦力となる人材を育成します。

取得できる修了証
(技能講習・安全教育)

林業分野に就業する上で必要な下記の12の特別教育及び技能講習修了証を研修期間内に取得できます。

- 伐木等の業務に係る特別教育修了証
- 不整地運搬車運転技能講習修了証
- 刈払機取扱作業安全衛生教育修了証
- 走行集材機運転業務特別教育修了証
- 車両系建設機械運転技能講習修了証
- 伐木等機械運転業務特別教育修了証
- フォークリフト運転技能講習修了証
- 簡易架線集材装置等運転業務特別教育修了証
- 小型移動式クレーン運転技能講習修了証
- はい作業従事者安全教育修了証
- 玉掛け技能講習修了証
- 機械集材装置運転業務特別教育修了証



専攻課程

定員30名
(各コース10名)

大学教授や各分野の第一線で活躍する講師による充実した授業で最先端の技術や知識が身につきます。

森林施業のプランナーへ 森林管理コース

森林GISの活用方法や森林施業プラン書の作成技術などを習得した、林業経営の中核を担う人材を養成します。



林業現場のエキスパートへ 林業技術コース

高性能林業機械のメンテナンスや架線技術などを習得した、林業技術のエキスパートを養成します。



木造建築のプロフェッショナルへ 木造設計コース

国内でも数少ない木造に特化したカリキュラムにより、住宅から中大規模木造までプロデュースできる木造建築のスペシャリストを養成します。



年齢 18歳以上 (令和6年4月1日時点)
※森林管理コース、林業技術コースの年齢は19歳以上

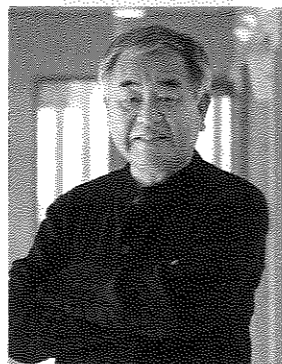
研修期間 1年(1,200時間程度)

研修料 年額130,680円(税込)
※別途、教科書・安全用具・作業着などの購入料200,000円程度

支援制度も充実! 最大165万円(年間)を給付

高知県立林業大学校では、最大165万円(年間)の給付金を支給する支援制度を整備しており、安心して研修に専念することができます。
※給付金制度には支給要件があります。詳細については、お問い合わせいただくか、ホームページ「高知県立林業大学校の青年就業準備給付金事業について」をご覧ください。

校長は
世界的建築家
隈研吾氏!



就職も全力でサポート!
就職率 **100%**

就職についても研修生ひとりひとりの希望に合わせてきめ細かな就職支援を実施。インターンシップによる職場体験なども積極的にを行い、全ての卒業生が、林業及び木造建築関係の仕事に就くことができました。

募集日程	推薦		申請期間：令和5年8月28日(月)～9月25日(月)
	一般	前期	選考日：令和5年10月14日(土)
		後期	申請期間：令和5年10月16日(月)～11月10日(金)
			選考日：令和5年11月25日(土)
			申請期間：令和6年1月15日(月)～2月2日(金)
			選考日：令和6年2月17日(土)

※後期試験は前期試験で合格者が募集人員に達した場合は実施しません。

高知県立林業大学校 Tel.0887-52-0784 Fax.0887-52-0788

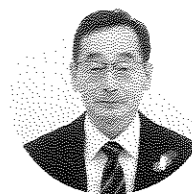
〒782-0078 高知県香美市土佐山田町大平80 https://kochi-forestry.ac.jp E-mail:030208@ken.pref.kochi.lg.jp

高知県立林業大学校 検索
フェイスブックもチェック!
研修の様子などを紹介します



林大の風

第38号 高知県立林業大学校



新年のご挨拶

林業大学校副校長
戸田 篤

新年、明けましておめでとうございます。旧年中は本校の講義や現地実習、インターンシップ等につきまして特段のご理解、ご協力を賜りましたこと、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

昨年4月1日付けの異動で本校に就任してから早1年が経とうとしています。元氣な挨拶で登校する研修生の遅く成長していく姿を目の当たりにし、頼もしさを感じています。

また、10月には馬路村魚梁瀬の丸山公園で、3年ぶりに開催された山師達人選手権において、本校チームが優勝するという快挙を成し遂げました。このような、日々の活動報告をHPや各種SNSにて掲載しておりますので、興味のある方はご覧いただければ幸いです。

最後になりますが、新しい年が皆様にとって実りの多い年となりますことを心より祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

岡山研修

専攻課程では、12月7日・8日の二日間で岡山県等での視察研修を行いました。

1日目は、銘建工業株式会社にて、中島社長に林業の現状とCLTの可能性について講義をしていただきました。その後、本社事務所・CLT工場と真庭バイオマス発電株式会社を見学させていただきました。

講義では、CLTの有用性を解説いただきました。また、本社事務所をCLT施工した際の過程を動画に見せていただき、施工の早さを研修生は実感することができました。



CLT工場では、最大サイズ3×12mのCLTパネルを製造する量産工場の生産ラインを視察させていただきました。次に見学した真庭バイオマス発電株式会社では、パーク(木の皮)・チップ・カン

ナ屑(CLT工場にて発生した物を含む)・ペレットなどを利用したバイオマス発電を行い、真庭市内に電力供給を行うとともに、CLT工場内での電気としても活用しているというものでした。このような地域で森の資源を有効に活用する取り組みはとも有意義であると感じました。



2日目の林業技術コースでは、最適採材を実現するパリュールバッキングシステムを搭載したICTハーベスタを導入している有限会社杉産業の施業地で、現地研修を行いました。杉社長よりICTハーベスタによるデータを活用することで仕分けコストを低減していることを解説いただきました。また、造材時に根元部分か

